



日本一人口の多い村 よみたんそん

71号 2017年9月 定例議会

平成29年9月末現在 (人口41,337人)

# 議会だより



議会だよりを書いた理由はまだ習っていない漢字にチャレンジしたかったことと、みんなにみてほしいと思って書きました。

みやざと まお  
題字：宮里 真央  
(古堅南小学校3年)



## 4年ぶりに上演された 喜名の組踊「忠臣・護佐丸」

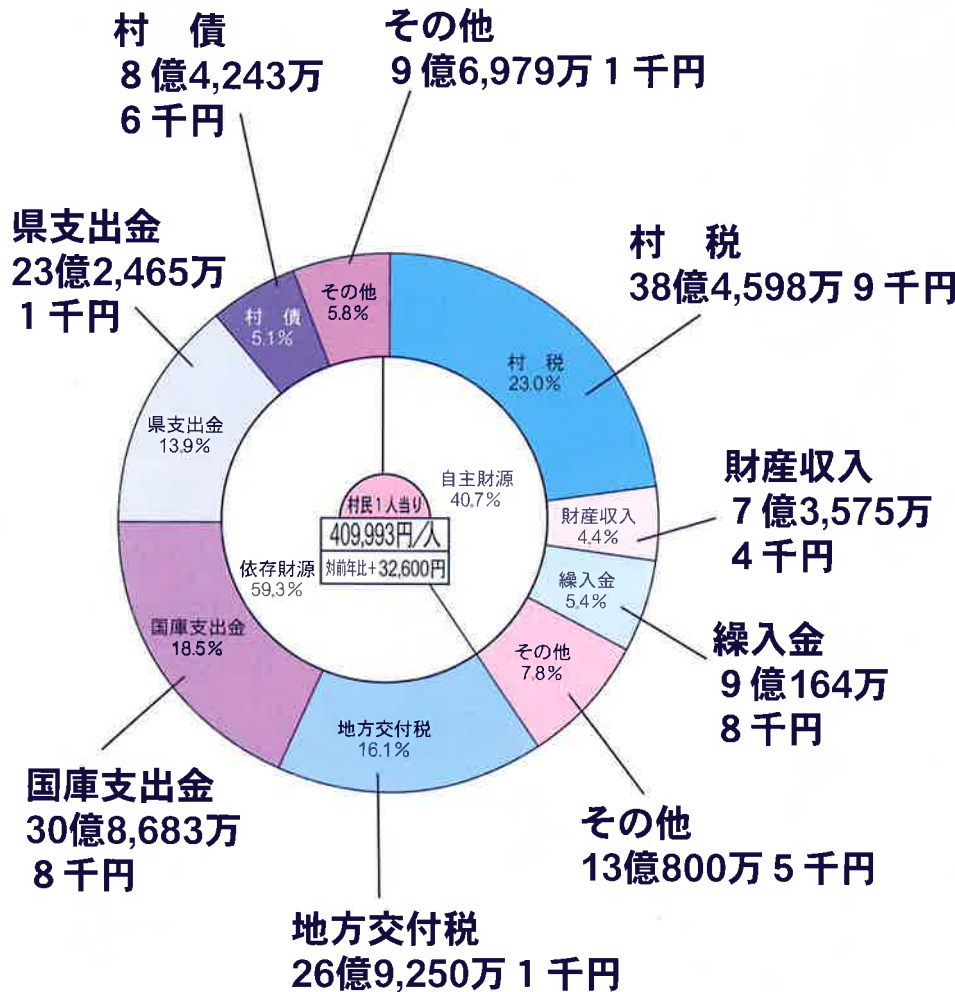
主催：喜名伝統芸能保存会

主な目次

# 一般会計決算

# ように使われました！

**歳入 167億761万3千円**



平成28年度の歳入決算については、予算現額174億9千522万7千円に対し、決算額は167億761万3千円で予算現額に対する収入率は95.5%となっている。対前年度比較では収入済額で13億3千829万円(8.7%)の増になっている。

村税は、歳入全体の23.0%を占め、決算額は38億4千598万9千円で前年度より1億9千722万4千円(3.6%)の増となっている。また、収入未済額も1億9千722万4千円で前年度比較で3千203万4千円(4.0%)の減になっている。

歳入決算については、予算現額174億9千522万7千円に対し、支出済額は162億6千807万円、翌年度繰越額9億5千911万2千円、不用額

2億6千804万5千円で執行率は93.0%となっている。

本年度の「実質収支に関する調査」によると、実質収支額は4億2千7万7千円の赤字になっていて、これから前年度実質収支額を差し引いた単年度収支は4千360万3千円の赤字となり、現段階においては健全財政といえる。

経常収支比率は財政構造の弾力性を示す指標とされる。本年度の比率は82.5%で前年度より13ポイント高くなり悪化している。この比率は町村にあっては70%程度が妥当とされ、80%を超えると注意を要するとされる。

平成29年3月末日  
 人口：40,751人

**歳入・歳出**  
 4月1日から翌年3月31日の一年間を「会計年度」という。この会計年度におけるすべての収入を歳入とい、全ての支払いを歳出という。

**自主財源**  
 村が自主的に収納することができる財源。財産収入、固定資産税、村民税など。

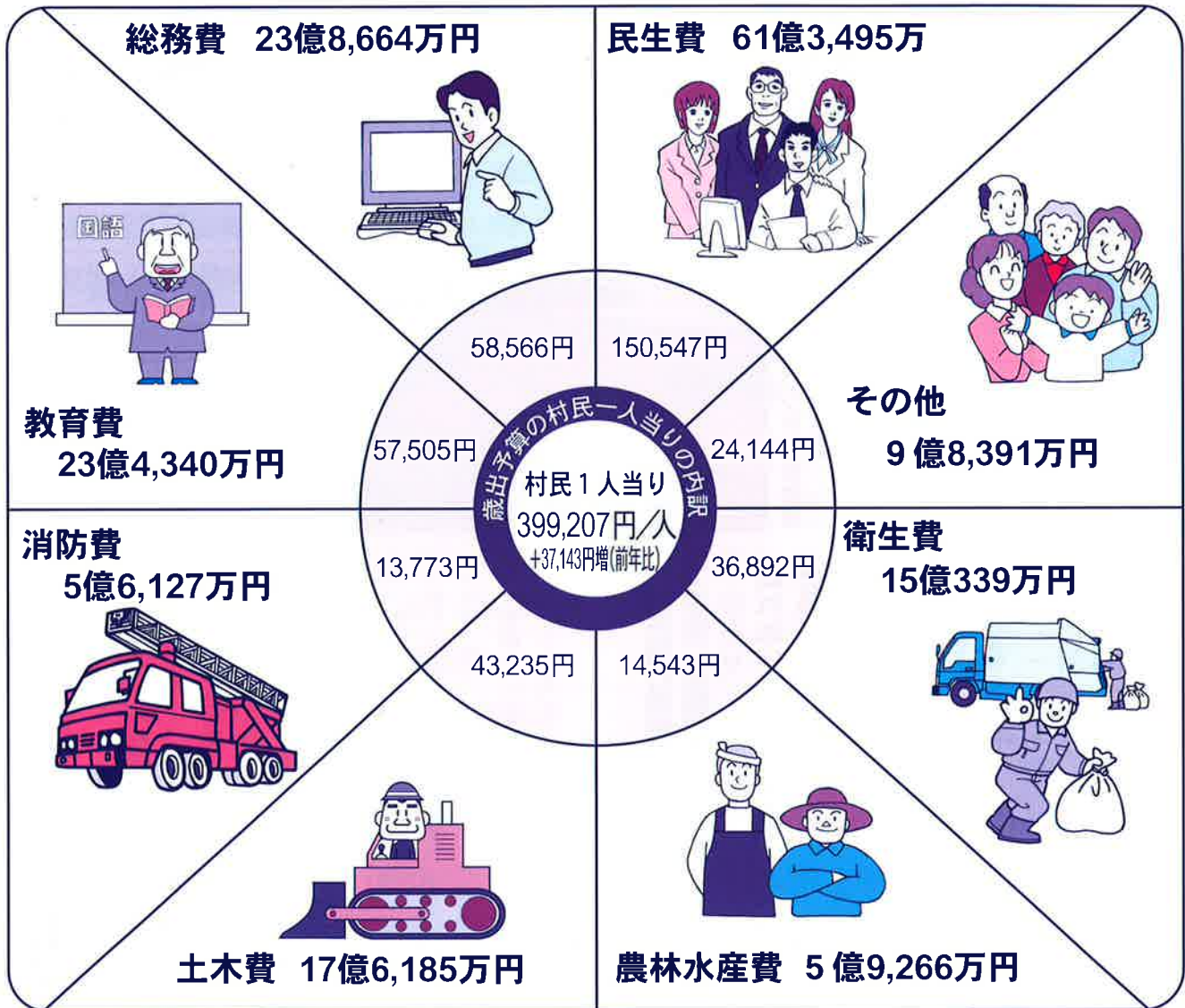
**依存財源**  
 国や県から割り当てられる補助金や交付金

**実質収支額**  
 歳入歳出差引額(形式収支)から翌年度へ繰り越すべき財源額を差し引いた額

**経常収支比率**  
 比率が低いほど臨時的経費に充当でき、一般的に70~80%が適正。90%を超えると財政硬直化。

# 私たちの税金 この

**歳出 162億6,807万円**



## 平成28年度特別会計決算

平成28年度読谷村診療所特別会計決算	241,027,322円
平成28年度読谷村国民健康保険特別会計決算	6,419,017,584円
平成28年度読谷村後期高齢者医療特別会計決算	380,686,057円
平成28年度読谷村下水道事業特別会計決算	474,475,877円
平成28年度読谷村水道事業会計決算	1,470,338,745円

Q 村政を問う!! 一般質問



榮 上地

**中央残波線と楚辺座喜味線の交差点において、ラッシュ時の渋滞がひどく楚辺座喜味線の右折の矢印信号機を設置してもらいたい**

**答** 同交差点は混雑度が約0.4となっており、渋滞地域ではない。嘉手納署としても矢印信号については優先度が低いとのことである。

**楚辺自治会より提出された6地点の停止線の新設等について**

**問** 公安委員会が設置した桃原商店前と楚辺公民館前の停止線の進捗状況は

**答** 嘉手納署から公安委員会へ6月に上申しているが今年度に塗装できるかわかわらない。

山田商店前他3箇所の交

通安全対策については自治会長と調整しながら対応する。

**子どもの貧困対策事業はどういう状況か**

**答** 同事業は平成28年度から取組まれ、一カ所目がい

一般法人うちなからは1いで平成28年7月から、2カ所目がNPO法人ウイング沖繩きせきが平成29年3月から実施している。現在は実数が13名で延べ数として507名の実績となっている。事業内容として食事の提供及び生活指導110回、学習支援が70回となっている。

**ユーバンタ公園整備事業の供用開始は平成32年4月を予定**

**問** 平成20年度に楚辺自治会から要請のあったユーバンタ公園整備事業の経過と現状は

**答** 平成22年度より防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助にて用地買収に着手

して平成28年度中に全体用地6筆を取得した。現在は平成30年度に工事が着手して防衛局に概算要望書を提出している。事業は多目的広場、外周20mの園路、東屋1棟、遊具類、男女トイレ等の工事内容になる。



ユーバンタ公園整備事業の予定地

**旧読谷飛行場用地の所有権回復について**

**問** 旧地主が生産法人に入り、自分の用地を取得する時期はいつ頃になるか

**答** 「法人が事業を実施する中で現地課題を集団的に解

決する。」とあるように法人による事業の進展による。

**問** 所有権（相続権）は承継者個人にあるのか

**答** 現地課題を集団的に解決しようとして法人に参加する旧地主関係者等個人にある。

**問** 生産法人の事業展開がうまくいっている法人があるか

**答** 長野県にある田切農産が挙げられる。

**旧読谷飛行場跡地において深夜に車輛等のドリフトがあり、うるさくて眠れないと云う苦情がある。その対策は**

**答** 平成28年度に陸上競技場側の滑走路跡に2箇所、村道支援センター線へ2箇所に減速帯を設置している。



伊佐 眞武

**就学援助費補助事業について**

**問** ①就学援助金の費目と支給時期はいつ頃か。②その費目の内、「新入学用品費」を4月入学前に支給している全国の事例はどうか。③本村でも「新入学用品費」については4月入学前に支給できないか

**問** ①村内で把握している人数は。②認知症でも手帳が取れるケースは。③手帳を取得した場合、経済的負担軽減の内訳は。④手帳取得までの流れは

**答** ①支給費目は「新入学用品費」、「学校給食費」、「修学旅行費」、「医療費」等7費目。②費用毎に異なるが8月となっている。③福岡市、熊本市等全国で60余りの市町村で実施。県内では現時点でまだ未実施。④今年度より小学校6年生に対し、中学校入学前に支給する。新小学校1年生に対しては規則等を整備した上、平成

**答** ①H28年度で100人。これは要介護及び要支援認定を受けている65歳以上の方。②手帳の種類としては「精神障害者保健福祉手帳」となり、認知症と診断され、日常生活や社会生活にどれだけの制約があるかにより認定される。③施設割引、携帯電話料金割引、バス、タクシーの割引、また等級により控除、免除等あるのは所得税、村民税、NHK受信料等。④医師による診断書、本人写真、印鑑を持参の上、申請書に記入し、関係機関の審査・認定、手帳交付まで約2ヶ月。

31年度より入学前に支給予定である。

**認知症高齢者について**



### 村道伊良皆西線から旧読谷飛行場につながる現道路について

**問** ①新設される村道大木喜名線の完成後、当該道路は残るのか、それとも廃止になるのか。②当該道路周辺の土地利用計画はどうなっているか

**答** ①②、大木喜名線及び大木土地区画整理事業に伴い、当該道路として2mの高低差が生じるから利用は困難。補填する道路として、大木土地区画内に接続道路の計画がある。一部民有地については関係者と協議していきたい。

### 虎地原線について

**問** ①本路線が都市計画決定されたのはいつか、②牧原線の渋滞解消の面からも虎地原線の整備時期に来ていると思うがその見解を伺う

**答** ①②、昭和56年に都市計画決定。栄橋の復元がどう語られていくのか、担当部署と調整しながら将来に向けた計画を立て直していきたい。



伊良皆西線より旧読谷飛行場につながる現道路



仲宗根盛良

### 給付型奨学金制度の導入を求める

**問** 経済的負担を軽減する為、①家計基準の住民税所得割非課税世帯の学生、②現行給付額を減額しての給付が出来ないか

**答** 財源の問題と給付対象者給付金額等の課題もあり、村育英会の理事会等で創設に向けて協議を進めていく。

### 村民植樹祭後の管理状況を徹底する

**問** 毎年村民植樹祭が行われて来た。①旧読谷飛行場跡地内②くるちの杜③残波岬公園内の育樹と除草はどうなっているか

**答** 旧読谷飛行場跡地内と

残波岬公園内は除草及び松くい虫防除を外部委託し、除草等は職員で実施。くるちの杜は、毎月村商工会青年部が除草作業を実施。

### 農業でのドローン活用デモ飛行の内容は

**問** 村内で農業用ドローンのデモ飛行が行われ、今後の活用展開と経費及び農家の意向はどうなっているか。

**答** 本村の圃場が小さいことや農業の散布では課題があり、1機20万円もするところから、実用化は難しい。

### 村内土地改良区内の耕作放棄地の解消に向けて

**問** 耕作放棄地の実態とその解決策及び農地へ再生された面積はいくらか

**答** 放棄地が16haもあり、農地中間管理事業及び利用権設定事業等を活用して農業委員とも連携し、解消に

努めます。なお、2.6haが農地に再生されている。

**問** 土地改良区内の排水路等の管理指導チェックはどうなっているか

**答** 土砂の浚渫をはじめ、裸地状態の解消指導、流出している堆積物を畑に戻すことなど地主への指導を徹底していく。

### 生活道路整備事業計画で指摘された個所の早期の改善を求める

**問** 伊良皆210番地横に個人所有のパイプ保管場所として利用されている。改善は

**答** 伊良皆自治会長の依頼により、8月29日に撤去済

**答** ゴミの撤去作業を行い、建物とフェンスの占有者に指導を行うと共に、ブロック塀の占有者へも相談を重ねて改善に取り組む。

### 村魚の選定経過と結果は

**問** 選考委員会での議論の内容と決定趣旨を伺う

**答** 3回の会議で論議し、水産業の振興及び観光漁業に寄与する目的で「ジンベイザメ」に決定。又、魚食普及の推進として推奨魚も含め位置づけしていく。



村魚はジンベイザメに決定



津波古菊江

### 村道虎地原線(牧原ゴルフ場)内を増設して嘉手納高校へのコミュニティバスの路線確保について

**問** 学区制の拡大により読谷地域から嘉手納高校へ通う生徒が56%を占めており88%以上の生徒、保護者が登下校に負担を感じていてコミュニティバスの運行を要望しているが、見解を伺う

**答** 虎地原線については整備に時間を要するのでコミュニティバスの運行については虎地原線の整備が具体化した段階で検討したい。

**問** 嘉手納高校から過去2回の陳情に対しての答弁が村内各小中学校及び読谷高校への通学時間帯を合わせている事と、新設で嘉手納高校へ運行すると国道58号線を通り嘉手納町へとなる



村道虎地原線(読谷村牧原在)に繋ぐ嘉手納高校前道路

### 放課後子ども教室(わんぱく広場)の拡充について

**問** ①H29年度自主防災組織の新規設立の展望  
②県の防災コーディネーター補助事業で充実拡大について  
③防災無線の整備(聞きとりにくい)  
④教育現場の防災教育の推進

**答** ①自主防災組織は伊良皆横田自治会が取り組み開始  
②補助事業は県から委託された専門化により避難行動要支援者名簿や個別計画の策定支援が行われている。  
③防災無線については防衛省補助事業でデジタル化する  
④防災教育は地震、火災の避難訓練を年1回実施、二ライ消防への訓練通報や消火訓練、講話等を行っている

### 読谷村のマスコットキャラクター"よみとん"の活用について

**問** 年間の実績と今後の展望(よみとん印の商品開発等々)

**答** 就任4年で知名度UP観光協会と調整して取りくむ



山内 政徳

### 無料塾について

**問** 読谷中学校区の無料塾の状況は

**答** 小学生が6名、中学生5名の合計11名で9月6日に開校した。定員が小学校25名、中学生25名で随時募集していると同っている。

**問** 嘉手納町にできた高校生対象の無料塾の状況は

**答** 8月4日現在、10名の生徒が利用しており、その内8名が読谷村在住の生徒であると同っている。

### 読谷村でのスポーツコンベンションについて現状と課題について

**答** プロ野球チーム1、プ

### 嘉手納高校までの鳳バスの運行について

**問** 朝一便の各中学校行をそのまま嘉手納高校まで運行ができないか

**答** 牧原線を利用して可能には読谷村の公共施設もないので周回する場所スパー

と既存のバス会社と競合するので路線決定は困難という事だが、H29年総務委員会の調査により執行部からの聞き取り調査によると、読谷村地域公共交通会議ではバスやタクシー等と連携、調整し営業の妨げがない状況だと道路運送法第80条に基き国として許可を出す。また嘉手納町の同意があれば可能性が高まるこの事だが担当課の見解は

**答** 虎地原線は嘉手納町の同意、協力が必要(村長) ハード整備の橋をかけての虎地原線等に全体的に引き続き検討

### 読谷村の地域防災について

**問** ①開催場所と開催日  
②教育委員会の評価は  
③課題は

**答** ①開催場所は大添、大木喜名、横田、波平、宇座、開催日は大添月々金、他5ヶ所は週1回 ②放課後の居場所づくりで地域の子は地域で育てるを実践している。  
③課題は参加児童の減少、地域の見守り隊の発掘、回数や場所を増やす事

### 無料塾について

**問** 読谷中学校区の無料塾の状況は

**答** 小学生が6名、中学生5名の合計11名で9月6日に開校した。定員が小学校25名、中学生25名で随時募集していると同っている。

### 読谷村でのスポーツコンベンションについて現状と課題について

**答** プロ野球チーム1、プ

### 嘉手納高校までの鳳バスの運行について

**問** 朝一便の各中学校行をそのまま嘉手納高校まで運行ができないか

**答** 牧原線を利用して可能には読谷村の公共施設もないので周回する場所スパー

スもない事から嘉手納町の協力、同意が必要となる。



鳳バスの路線延長を考える

### 子ども達の貧困対策について

問 就学援助等なにか変化があったか

答 新入学用品費を入学前に支給するとともに支給額を23,550円から、47,400円に引き上げた。

課題は、制度を多くの村民に知ってもらい有効に活用してほしい。

### 読谷村として米車による事件、事故の対策を何か行っているか

答 ゲート付近への英字の看板等を設置、米兵への網紀の粛正の徹底等を申し入れを行っている。

### 集落内の交通安全について



比嘉 幸雄

問 ストップ線や横断歩道の白線が消えている

答 停止線や横断歩道については公安委員会の意思決定、嘉手納署と協議する。

問 ピーターパン保育園前の道路はストップ白線の消失や、ストップ標識の前に道路が交差し危険である。安全対策は

答 嘉手納署と協議する。

問 J A給油所前の信号機を黄色点滅に出来ないか

答 公安委員会が意思決定をする。

問 この信号は平成6年に点灯している。20年余りも減速通行している。危険防止や、交通事故防止であれば看板を掲げて注意喚起しながらの取り締まりは、出来ないか

答 内容については嘉手納署に伝える。



ピーターパン保育園前で交差する、ストップ線が消えた道路

### 南古堅保育園の環境整備について

問 隣地との間に鉄筋が立てられ危険である

答 園と一緒に地権者と交渉している。

問 鉄筋が立てられている現状でも進展は無い

答 地権者の承諾を得る状況にない。

問 隣地との境界に鉄筋が立てられている現状はとも安全な保育環境とは言えないか

答 なかなか、首を縦に振

つてくれない。  
問 園出口、村道側にミラーを設置出来ないか

答 不特定多数を対象とした道路ではないため、優先度は低い。

問 専用道路に乗用車の放置車両がある。早く撤去させては

答 警察とも相談している。

### 村営注連設計について

問 予算範囲での随意契約導入は出来ないか

答 入札不調になった場合は、入札参加者を全て替え、再入札を前提とする。

問 設計者と工事管理者を同一に出来ないか

答 一定の技術力を有する業者を選定し指名競争入札に付している。

問 地域産業育成としての地元業者の活用をどう考えるか

答 村内設計事務所の落札も多数ある。

問 実績が必要であれば、この実績で1と数える方法もあるがどう考えるか

答 事案に基づいて村内業者を優先する。

### 防衛省との協力体制について

問 自衛隊募集ポスターの庁舎内掲示やパンフレットの設置は出来ないか

答 防衛省との協力体制については慎重にならざるを得ない。

問 読谷村の所得は県で何位か

答 中ほどと理解している。

問 本村は下から数えて10番目。貧困家庭、子供貧困、貧困学生など負のスパイラルが見えてくる。18歳になれば奨学金を借りて返すから始まる。しかし、そんなことをしない方法もこのパンフレットの中にある。住民に知らせた方がいいのでは

答 これまでどうりやらない

問 子どもたちを含め、住民は知りたい人もいる

答 やらないと決めている。

答 児童手当、保育の申請の届け出の様式の印刷やサービスの検索、比較は可能です。児童扶養手当の現況届、保育施設等の現況届は印刷はできないがサービスの検索比較は可能、オンラインサービスはできません今後検討している。



國吉 雅和

### 公園と認可保育園整備 進む

**問** 石嶺村政一年目(2010年)と八年目(2017年)までを比較し子育て環境を検証する

**答** 都市公園と農村公園は合計25ヶ所から読谷西部公園と伊良良地区運動広場を新設し27ヶ所。この八年間の公園新設、改修・拡張工事や遊具の新設は、総事業費で約11億6千万円。その内訳は補助金(7億2千万円)と村単費(4億4千万円)。

**問** 認可保育園整備は

**答** 認可保育園の定員数は330人から定員数855人、一般財源総額は約9千万円から約2億9千万円へ増額。

### 3村立保育所と9認可保育園の村負担額は同額

**答** 定員数210人の3村立保



わらび保育園



ふれ愛保育園

たけのこ保育園

### 総合事業で要支援者と高齢者を効果的に支援する

育所の予算総額は約3億円で、855人の9認可保育園の一般財源総額2億9千万円。(認可保育園は国・県より補助金あり)

**問** 待機児童数とその解消にどのように取り組むか

**答** 9月1日現在はゼロ歳児1歳児で32人、2歳児8人。待機児童解消として、低年齢児に特化した小規模保育園等を設置していきたい。認可外保育園長会要望は

小規模保育園設置・給食費と施設整備費の拡充・保育施設の固定資産税免除

### うで地域医療構想の素案策定中であり、県と意見交換をしているところ。

**問** 介護予防・日常生活支援総合事業の取り組みは

**答** 通所型サービスAは週一回生き生き健康センター

実施。課題は対象者増に対する受け入れ先探し。通所型サービスCは週一回健康増進センター実施。課題は3ヶ月6ヶ月と期間が短く、卒業後の通いの確保。

総合事業の提案(インセンティブ方式) 読老連のゴルフサークル参加者60人(年間)へ、ゴルフボールを進呈することにより、さらなる健康維持に寄与すると考

える。

### 救急病院設置構想と村立診療所のかかりについて

**答** 救急病院設置構想が具体的に動いた段階で見えてくると考える。

**問** 議会による誘致決議の必要性は

**答** 時期が来れば必要だと考えるが、現段階は県のほ

### 村道比謝牧原線整備下部工橋台3基の請負契約について

**問** 3件とも村内事業者が落札したが、1件目だけ指名10社の中に村外事業者2社を指名した理由は

**答** 橋梁工事で村内事業者は、過去5年間の施行実績経験がないため、実績経験のある村外2事業者を含め、村内業者の育成を図る観点から村内の特定建設業8社の合計10社を指名した。



與那覇徳雄

### 道路反射鏡について

**問** 村が管理している道路反射鏡の数は

**答** 620基

**問** 自治会からの道路反射鏡設置要請数(5年分)は

**答** 62件

**問** 破損している箇所が見られるが管理点検はどの様に行っているか

**答** 管理点検は村民からの連絡及び村内巡回時に目視点検を行い修繕。台風通過後見回り点検実施

**問** 村民及び自治会から道路反射鏡の修繕等の問い合わせ内容は

**答** 角度調整・撤去・取り換え依頼がある

**問** 村道波平3号線と4号線が交差する十字路付近の

**問** 補正予算を組んで対応

道路反射鏡が数年前から破損しているが

**答** 確認する。

**問** 村道伊良良皆西線と読谷補助飛行場跡地に抜ける道路の中間点の道路反射鏡が樹木や雑草で確認できない

**答** 確認して対処していく。

### 農村運動広場の電気・トイレ等の改修について

**問** 農村運動広場管理している自治会からの改修要請内容は

**答** 2自治会から屋外のトイレの大便器を和式から洋式に変更できないかの要請

**問** 電気及びトイレ等の改修計画は

**答** 予算の範囲内で優先順位を決め順次修繕していく。

**問** 洋式に変更した場合の設置費用は幾らかかるか

**答** 一台につき約30万円。





できないか  
**答** 女性トイレ和式の二カ所の内一カ所は今年度、他は新年度予算化して早期に改善を図る。



農村運動広場のトイレ（現状）

**埋蔵文化財について**

**問** 記録保存した埋蔵文化財は今まで何カ所記録保存されたか  
**答** 14カ所を記録保存。

**問** 瀬名波通信施設跡地の遺跡範囲確認調査の進捗は

**答** 委託契約締結し現場着手前の準備を行っている。

**問** 発掘担当正規職員の強

化が必要と認識するが  
**答** 文化財保護行政に関わる職員の充実が必要の考え。

**問** 遺跡から出た遺物の展示会を長浜・渡慶次の両公民館で開催してはどうか  
**答** 長浜・瀬名波公民館で展示会を開催。渡慶次公民館から要望があれば積極的に関わる。

**問** 発掘調査も増加傾向にあるとの答弁から、発掘調査専従職員の増員・配置計画を考えてはどうか  
**答** 本年度学芸員を採用、採用については中期的なプランで考える。

**問** 文化財保護行政に関わる職員の充実が必要との答弁から文化振興課職員の増員の考えは

**答** 村長部局・教育委員会の職員構成はトータルバランスが必要で増員は厳しい。

**問** 文化財保護行政に関わる職員の充実が必要との答弁から文化振興課職員の増員の考えは

**答** 村長部局・教育委員会の職員構成はトータルバランスが必要で増員は厳しい。



城間 勇

**南部地区幹線道路について**

**問** 比謝横断線の起点、終点、幅員、延長、進捗状況について

**答** 国道58号線比謝交差点を起点とし、トリー通信施設のゲート移設箇所の読谷道路を終点とする延長約900M、幅員18Mを想定。次年度に道路予備設計を予定。

**問** 伊良皆大湾線の起点、終点、幅員、延長、進捗状況について

**答** 県道6号古堅中学校付近を起点とし、県道16号と村道古堅線との交差点付近を終点とする延長1.3km、幅員18Mを想定、比謝横断線を含む他路線の進捗状況等を鑑みての事業計画となるため、実施段階には至っていない。



比謝横断線の予定地

**渡具知東原遺跡と旧日本軍が構築した特攻艇秘匿壕について**

**問** 渡具知東原遺跡の歴史的価値、評価について、史跡指定して整備保存、活用すべきだと思うが

**答** 昭和50年に発掘調査が

行われ、約7千年前の縄文時代早期から前期にかけての遺跡で、それまでは県内の最も古いとされていた遺跡は3千5百年前の縄文時代後期の遺跡であったことから、沖縄の歴史に衝撃を与える貴重な遺跡。保存、活用すべき文化財。文化財指定に向けては、専門化による遺跡の評価や地権者の同意が必要。

**問** 旧日本軍が構築した特攻艇秘匿壕の歴史的価値、評価について、戦争遺跡として史跡指定して整備保存活用すべきだと思うが

**答** 比謝川河口に残る特攻艇秘匿壕は昭和19年の12月から翌年にかけて陸軍海上艇身基地29大隊の指揮によって構築された。現在6つの壕が確認されている。貴重な戦争遺跡、保存活用すべき。文化財指定に向けては、専門家や地権者、関係課との意見交換が必要。

**問** 渡具知東原遺跡、特攻艇秘匿壕、その一帯を遺跡公園として整備できないか

**答** 地域の皆さん等を含めどのような公園、あるいはどのような保存をすべきか、話し合いをする中であるべき姿に持っていきたい。

**古堅の農業振興地域の土地利用の用途見直しについて**

**問** 古堅、久保原、通地原の農業振興地域の土地利用の用途見直しの検討時期で

**答** 周辺地域の住宅需要の高まりにより、徐々にではあるが宅地要件が整った箇所は農振除外を実施してきた。これまで同様、他法令との整合性を図りながら一部除外等で対応していきたい。



山城 正輝

核兵器禁止条約の承認を政府に要求すべきは非常に画期的な条約。平和首長会議と連帯、協力!

問 村長は、この条約をどう評価し、どう取り組むか。1982年非核宣言の碑を補修すべきではないか  
答 碑は、運動広場等3カ所に設置されている。先週地元ボランティアによりメンテナンスされている。



運動広場入口に建つ碑  
「非核宣言」1982年6月議会提案者 山城正輝

保育所民営化・北保育所建て替え問題は、どうなっているか↓すべて民営化はない。北保育所は当面現行のまま?!

問 保育所は、「福祉の窓口」といわれている。民営化、北保育所建て替え、今後の未就学児の保育、教育をどう考えているのか  
答 工事費用は国・県からの補助金がなく、厳しい。今後の取り組みは、検討委で協議し、方向性を見出していきたい。

子ども医療費助成への村の態度は↓現物給付は検討。高卒引き上げは、難しい?

問 県案に対する新聞アンケートで賛否「どちらでもない」と答えているのは不誠実ではないか  
答 県から具体的説明がなく財源確保の協議もできなかった。

国保運営の県移行に伴って国保税の引き上げをすべきではないと考えるが↓現時点では答えられない。平36年に反映しない事は困難!

問 新聞アンケートで国保税変化予想について「未回答」になっているのは不誠実ではないか  
答 調整が整ってなく、慎重に判断する必要があった。

要支援1、2事業移行は、どうなっているか↓準備し、円滑な移行に対応!

問 新聞アンケートで事務移行について「未回答」になっているのは不誠実ではないか  
答 対象者、事業者、村三者の調整が整ってなかった。

健康増進センター職員による不明金事件の全容と対策について↓村民の皆様

さまにお詫び申し上げます。現段階で約389万円。公金管理課題を検証し、職員研修、服務規律の強化、確立に努める。

トリイ基地内における夜間長時間サイレン騒音に対する認識、対応、抗議すべきことについて↓休日夜間、住民へ不安と不快感を与えた。事案の内容、時刻、場所、原因など問い合わせ、連絡体制の構築を強く要請。口頭で抗議!?

村道波平都屋線(セーラ苑東)亀裂、再工事問題について↓補修費用約1千万円。業者側で実施。十分な締固めができていなかった。長期的な監視が必要!?



仲眞 朝雄

4月に導入した村立幼稚園のタイムレコーダーについて

問 その利用状況  
答 全ての幼稚園で、全職員がタイムレコーダーによる出勤勤務時の打刻を行っている。

答 服務管理と健康管理に活かすため導入されたが不慣れで時々打刻忘れがあったり、出勤時間の集計で事務量が増えたという声もある。

問 服務管理上どう役に立っているか  
答 管理をしている副園長園長についても、何時に出退勤したのかもわからなかったが、その管理がきちんとできるようになった。  
問 出勤時間の集計で事務量が増えたところがあるが、誰の事務量が増えたのか  
答 副園長の事務量が増えた。理由は、打刻したものを集計する際エクセルに入力する必要があるのであるから。

問 打刻データの処理方法  
答 毎月、各自で年次休暇申請書とタイムカードを照合、園長に提出、確認後園に保管。  
問 データの活用  
答 職員の出勤状況、超過勤務時間の確認と把握をしている。

問 幼稚園現場での反応  
答 導入したタイムレコーダーの仕様でも出勤の集計ができるので、早速10月から進め負担を軽減する。



学校の印刷室

**問** 中央教育審議会初等中等教育交科会「学校における働き方改革特別部会」より文科大臣へ答申された緊急提言の詳細と、本村への影響は。

**答** ①国としての持続可能な勤務環境整備のための支援を充実させること。

②「チーム」としての学校の実現に向けた専門スタッフ

の配置促進等。教員の事務作業（学習プリント印刷や授業準備等）等をサポートするスタッフの配置促進、部活動指導員の配置促進、部活動の運営に係る指針の作成。スクールロイヤーの活用に向けた体制づくり。

③「学校の指導運営効果的な強化・充実」教員一人当たりの担当時数の軽減。小学校における専科教員、中学校における生徒指導担当教員の充実等。

現段階においては「提言」であり、具体化されるかは不透明。今後、文科省や県教育委員会の動向を踏まえ対応していく。

**問** 防災機材や備蓄食料関係は今後、増やしていく計画は

**答** 機材は、担架や発電機、折りたたみリヤカーなどをそろえている。また、毛布やベッドの寝具類、簡易トイレやおむつの衛生用品を備蓄している。食料の備蓄は、5年間保存の食品を毎年500食分を追加しており、現在の食料備蓄量は、2,050食で、今年度も500食の購入を予定している。また、災害時には協定を結んだ企業から支援が受けられる災害時応援

**問** 防災機材や備蓄食料関係は今後、増やしていく計画は

**答** 機材は、担架や発電機、折りたたみリヤカーなどをそろえている。また、毛布やベッドの寝具類、簡易トイレやおむつの衛生用品を備蓄している。食料の備蓄は、5年間保存の食品を毎年500食分を追加しており、現在の食料備蓄量は、2,050食で、今年度も500食の購入を予定している。また、災害時には協定を結んだ企業から支援が受けられる災害時

**問** 村内防災無線の設置件数は

**答** 防災行政無線の設置件数は、役場庁舎に設置した親局整備と、各公民館や沿岸部などに屋外拡声子局が63基設置され、村施設、保育園、学校などに個別受信機が59基設置されており、建物内への情報伝達を行っている。

**問** 波平地区・宇座地区の土地改良区内の沈砂池の設置件数は

**答** 波平地区と宇座地区改良区内の沈砂池は25箇所設置されている。

**問** 波平地区の宇座地区の土地改良区内の沈砂池の設置件数は

**答** 波平地区と宇座地区改良区内の沈砂池は25箇所設置されている。

**問** 波平地区の宇座地区の土地改良区内の沈砂池の設置件数は

**答** 波平地区と宇座地区改良区内の沈砂池は25箇所設置されている。

**問** 波平地区の宇座地区の土地改良区内の沈砂池の設置件数は

**答** 波平地区と宇座地区改良区内の沈砂池は25箇所設置されている。

**問** 波平地区の宇座地区の土地改良区内の沈砂池の設置件数は

**答** 波平地区と宇座地区改良区内の沈砂池は25箇所設置されている。

**問** 地域防災計画は作成されているか

**答** 読谷村地域防災計画は、平成26年3月に作成されている。

**問** 村内防災無線の設置件数は

**答** 防災行政無線の設置件数は、役場庁舎に設置した親局整備と、各公民館や沿岸部などに屋外拡声子局が63基設置され、村施設、保育園、学校などに個別受信機が59基設置されており、建物内への情報伝達を行っている。

**問** 波平地区・宇座地区の土地改良区内の沈砂池の設置件数は

**答** 波平地区と宇座地区改良区内の沈砂池は25箇所設置されている。

**問** 波平地区の宇座地区の土地改良区内の沈砂池の設置件数は

**答** 波平地区と宇座地区改良区内の沈砂池は25箇所設置されている。

### 読谷村地域防災計画について



新城 昭彦

協定を結んでいる。機材については、コミュニティ助成金を活用した自主防災組織による資機材の購入を進めている。

**問** 自主防災組織育成の取り組みや自主防災組織の活動状況は

**答** 現在、本村の自主防災組織は、5か所で、毎年1回防災訓練を行っている。また、現在、伊良皆自治会、横田自治会が自主防災組織設立に向けて取り組みを開始している。



大添自治会の備蓄倉庫内防災具

に予算の範囲内で伐採を行いたい。

**問** 宇座海岸から波平大海岸の間のハブ捕獲器の設置件数は

**答** 宇座海岸から都屋海岸までの区間に100器設置してある。

**問** 過去5年間のハブ類の捕獲件数は

**答** 平成26年度から3年分の資料、平成26年度、22匹、平成27年度、43匹、平成28年度、27匹。

### 各自治会ゆいまーる共生事業について

**問** 以前、ゆいまーる共生事業備品のカラオケ・テレビやビデオデッキの活用状況は

**答** 故障等で使用が出来ない。

**問** 各ゆいまーる共生事業へテレビ、デッキの備品配備が出来ないか

**答** 備品の配備等各自治会と相談して整備計画を進めて行きたい。



神谷 嘉栄

**今後の高齢者介護のあり方**

**問** 要支援者向け介護保険サービスが市町村の総合事業への移行についての考えを伺う

**答** 総合事業における通所型訪問型、その他の生活支援各サービス及び一般介護予防事業を拡充して対象者の移行が円滑に行われるよう準備をしている状況。

**問** 本村において、要支援1及び2の対応を伺う

**答** 要支援1の方は、年一回の更新申請時に窓口以案内し、総合事業の対象になるかどうかの確認を経て、その人の状態に合ったサービスへの案内をしている。要支援2の方は、介護保険

認定申請をしてもらい、認定結果にあわせて各サービスの案内をしている。これからの同様な対応の予定。

**問** 5段階ある要介護の一部について、要支援同様に移行は予想されないか

**答** 平成28年10月12日の厚生労働省社会保障審議会介護保険部会で、要介護1及び2の支援のあり方について、市町村の事業、総合事業への移行は「時期尚早」との意見で当面の移行は見送りとなっている。

**問** 1947年から1949年生まれの団塊の世代が後期高齢者に達する2025年問題についてどう考えているか

**答** 一番重要な事は団塊の世代の方も含め、元気な高齢者が増加することであると考えている。そのためには、生活習慣病予防と加齢に伴う心身の機能低下を防ぐための対策を講ずることが必要となる。また、介護が必要な状態になっても住み慣

れた地域で過ごすことができればための支え合いの仕組みと、必要な医療・介護が受けられるサービス体制を構築する必要があると考える。

**交通安全対策**

**問** 平成26年第44回定例会にて、県道6号線沿いの瀬名波駐在所前へ信号機の設置についての質問に、近くの残波入り口前に信号機があるのが当該場所への設置は難しいとの答弁であったが、県内においては信号機間の距離がより短い所もあるのだが、どう思われるか

**答** 嘉手納署に確認したところ、歩行者や交通の量、事故多発箇所、小中学校、公共施設などが付近にあり交通安全を特に確保する必要がある場所で信号機設置以外の対応策がない場合に設置されているとのこと。

**問** 移転した旧読谷中学校跡地の県道12号線沿いの信号機を瀬名波駐在所前へ移

設はできないか

**答** 旧読谷中学校跡地においては今後、商業施設の計画があり、歩行者や交通量の変化も考えられることから信号機の移設については、現在のところ考えていない。



旧読谷中跡地前の信号機



上地利枝子

**村内各小中学校、冷水機、製氷機設置の予算処置維持管理について**

**答** 冷水機、製氷機設置に特化した予算枠はありませんが、学校管理備品費や教材備品費で対応できるものと考えている。電気代、水道代、修理代やリース代等維持管理については、教育予算で対応できるようにしている。

安全面については、スタッフ一同心がけている。障害者用駐車場への屋根設置については考えていないが、外灯の件については利用者からも暗いとの声がありますので改善に向けて努力していきたい。



センターの障害者用駐車場への屋根の設置を

**健康増進センター周辺の安全対策として、障害者用駐車場への屋根設置と玄関入り口付近に外灯設置が出来ないか**

**答** センター利用者数も着実に増えており、利用者の

**問** 村民の健康管理拠点として保健センター建設が早急に必要だと思えますが、村としての見解を伺う

**答** 保健センターは、村民の健康を助ける身近な施設として、健康に関連する機

能を集約した拠点であり、その設置が望ましいと認識する。保健センターの役割として、高齢化社会に対して健康寿命を延ばしていくという目的がある。また、女性の社会進出が高まる中、母子保健について対応や地震津波とか自然災害、それから新型インフルエンザ等を初めとする感染症の発生等健康危機に対応する拠点となる施設と認識している。保健センター建設に向けては今後調査研究をしていきたい。

### 問 「我が事、丸ごと」事業展開について伺う

答 平成29年3月に国より事業の周知があり、本村としても取り組みを検討し、関係団体との意見交換等を行ってきた。現状本事業の目的である、他人事を我が事にかえていくような働きかけや地域課題を丸ごと受け止め、解決につなぐ場の体制づくりと思っている。今年度は、この体制づくりとして自治会を中心とした「読谷村福祉推進委員会」の活動を重点的に行い、本事業の目指す、地域共生社会づくりを推進する予定。

### 問 中学校在学中に課題を抱えて卒業した子ども達への継続した支援は

答 平成28年度在学中に、不登校や学業不振、家庭環境によって、進路が定まらなかつた生徒が4名いた。学校は、生徒本人や保護者と相談をし、2名は通信制の高校へ、他2名については、保護者と情報交換し、生徒の様子を把握しながら今後

の進路について継続して相談にあたっている。



長濱 宗則

### 役場職員が常時使用している行政財産の中央駐車場の有料化について

問 行政財産としての位置づけは

答 中央駐車場は運動広場や多目的広場の体育施設を利用するなど行政財産として位置づけられている。

問 学校、保育所、給食センターの財産の位置づけは

答 行政財産。

問 読谷村財産使用条例

で「行政財産を使用するものは使用料を納付しなければならぬ」とうたわれているが駐車場として使用料をとれないか

答 「国、地方公共団体、そ

の他の公共団体は公用のために使用される時は免除できる」とうたわれている。

問 村長、中央駐車場の有料化の考えは

答 現在のところ考えていない。

問 駐車場料はスポーツ基金として児童生徒の派遣費に充当できないか

答 中央駐車場の有料化は検討していないので基金も考えていない。



中央駐車場

### 読谷村の体育施設の指定管理について

問 平成28年度の多目的広場、運動広場、平和の森球場、陸上競技、ボールパーク、村民体育館の利用件数、使用料、各施設の村民の利用件数は

答 多目的広場40件、89万1,365円、運動広場30件、135万8,620円、平和の森球場270件、264万9,165円、陸上競技106件、152万9,200円、ボールパーク74件153万3,100円、村民体育館315件28万9,055円、昼間、ナイターの集計で村内外の人数は把握していない。

問 嘉手納町、北谷町の社会体育施設のような指定管理の考えはないか

答 3字の自治会とも調整しまして、渡具知、大木については1億円、楚辺自治会は1億300万と担保されていると考えている。

答 社会体育施設管理につきましては業務内容の見直しなど協議中である。指定管理につきましては他市町村の内容も学びながら考えていきたい。

### 再編交付金から

問 渡具知、大木、楚辺自治会への交付の進捗状況は

答 平成29年度は渡具知公民館改修事業に関わる実施設計を行っている。大木、楚辺自治会については、順次設計、工事を行う。

問 3地区自治会とのコミユニケーションはしっかりとれているか

答 不定期ではあるが、必要に応じて適宜会議を開催する中で意見交換と情報の共有化を図っている。

問 3自治会への交付金の配布は担保されているか

答 3字の自治会とも調整しまして、渡具知、大木については1億円、楚辺自治会は1億300万と担保されていると考えている。



知花 徳栄

村内小学校改修工事について

**問** 今年、4小学校の耐力調査を行うが、その後の予定はどうなるか  
**答** 平成30年以降、基本計画、実施設計、工事と段階的に作業を行う。

**問** 学校建設基金を設けたが、どのようなペースで積立てる予定か  
**答** 老朽化が進んでおり、毎年、1億〜2億を予定。

**問** 4校の総事業費と補助率の予定は  
**答** 4校で100億、補助率は57%、起債27%、単費17%程度の見込み。

**問** 渡ヶ次小敷地は狭隘と  
**か** 思うが、拡張の予定はあるか



規模が小さく新たな駐車場整備が必要！

座喜味城跡の駐車場について

**答** 校舎建替計画で、その議論の中で地域やPTA等の関係者の意見を伺い、総合的に判断したいと考える  
**要望** 関係者の意見聴取は早目に数を重ねてほしい

**問** 新資料館、美術館完成後の駐車場の現状はどうなるか  
**答** 大型バス3台、乗用車等31台予定

**問** 駐車場の規模が小さ過ぎると思う。勝連、今帰仁の来客数は読谷の3倍と10倍である。駐車場の拡大が重要と思うが  
**答** 基本構想をもとに東側に整備を考え地権者とも最近役場の考え方を伝えた。  
**要望** 地域、村の活性化のため、地権者と親族の皆様へ協力願いを重ねてもらいたい。

村道植栽マスの除草対策について

**問** 村、県、国も除草対策が悩みの種だと思いが、雑草が生えにくい観葉植物を植える研究も必要と思いが  
**答** 特に夏場は雑草の繁殖力が旺盛で、対応に苦慮している。中央分離帯及び植栽への防除シート、防草コンクリートによる対策、ランタナも植え雑草の繁殖抑制に努めている。国や県では防草対策の検討会を設け「防草植物」と「構造的防草」の側面から実施実験  
**問** 中州の雑草については草刈を行う。堆積した土砂については、整備する事で長浜川に生息する希少な貝類に影響を及ぼす可能性があり、専門家や関係機関等からの意見を聞き検討する。  
**要望** その場所は水辺空間の事業も行われているが全く機能していない。又、平成24年7月の台風時の大雨で施設が決壊した地域にもなっており、二度と水害に合わぬように防災の面からも関係機関とも早目の調整をし、対応策を検討してもらいたい。

長浜川中流の約100mに渡って土砂等が堆積し、雑草が生い茂っている。その処理について

読谷村特別職の職員の給与等並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

読谷村特別職の職員の給与等並びに旅費及び費用弁償に関する条例（平成9年読谷村条例第2号）の一部を次のように改正する。

附則に次の1項を加える。

9 平成29年8月1日から同年10月31日までの間における村長及び副村長の給料月額、第3条の規定に関らず、同条に規定する額から当該額の100分の5に相当する額を減じた額とする。

附 則

この条件は、公布の日から施行し、改正後の読谷村特別職の職員の給与等並びに旅費及び費用弁償に関する条例の規定は、平成29年8月1日から適用する。

平成29年8月3日提出

読谷村長 石嶺傳實

# 特別決議

第465回

可決

## チビチリガマ損壊事件に対する特別決議

平成29年9月12日、沖縄戦で村民が集団自決（強制集団死）に追い込まれた自然壕チビチリガマの内部や入り口が本島中部の16歳から19歳の少年4人によって壊されているのが見つかった。少年4人は器物損壊容疑で9月15日に嘉手納署に逮捕された。

ガマの内部には遺骨や沖縄戦当時の瓶やつぼなどの遺品が散らばり、入り口付近に建てられた平和を願う歌が書かれた木製ボードも引き抜かれ「世代を結ぶ平和の像」に投げ捨てられていた。また、千羽鶴も引きちぎられ、平和の像の石垣も破壊されていた。

このような心ない行為は遺族の苦しい思いを踏みにじり生き残った者達への冒涇であり、何人と云えども許されるものではなく、処罰されなければならない。

72年前の沖縄戦で、チビチリガマには、住民約140人が戦禍を逃れるために避難をしており、その内村民83人が集団自決に追い込まれている。その背景には皇民化教育や鬼畜米英とのまがった指導にあったことが指摘されている。

こうしたことから、チビチリガマは沖縄戦の実相を伝え「生命の大切さを考える場」として平成20年、読谷村の戦争遺跡の文化財に指定された。現在は、県内外から平和学習の場として多くの参拝者が訪れている。平成7年に、遺族によって「チビチリガマ世代を結ぶ平和の像」が再建され、今日まで大切に守り、世代を繋いできた神聖な場所でもある。

この度の損壊事件は、村民をはじめ多くの人々の心を踏みにじり、村文化財を否定し、戦争犠牲者に対する冒涇であり、断じて容認できるものではない。

よって、読谷村議会は戦争の悲惨さ、チビチリガマの悲劇を語り継ぎ、一切の暴力を拒否し、「平和に勝る福祉なし」を目標に御万人とともに奮闘することを宣言する。

平成29年9月28日

沖縄県読谷村議会

件名	議決結果	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
		氏名	與那覇 徳雄	知花 徳栄	新城 昭彦	山内 政徳	山城 正輝	仲宗根 盛良	仲眞 朝雄	新垣 修幸	當間 良史	比嘉 幸雄	津波古 菊江	上地 利枝子	上地 榮	伊佐 眞武	長浜 宗則	神谷 嘉栄	城間 勇	國吉 和	伊波 篤
米陸軍トリイ通信施設内における夜間のサイレン音に対する抗議決議・意見書	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
読谷村特別職の職員の給与等並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
ソフトボール専用球場設置に対する要請書、ソフトボール専用球場の建設要請書	一部採択		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コミュニティバス（鳳バス）の嘉手納高校への路線新設について（要請）	採択		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
村民に不安を与えるMV-22オスプレイの墜落事故に対する抗議決議・意見書	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チビチリガマ損壊事件に対する特別決議	可決		○	○	○	×	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○
北朝鮮による日本人拉致問題の早急な解決を求める意見書	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議案賛成者は○とし、反対者は×とします。退席者は－、欠席者は欠としています。

議長は採決に加わらないため、斜線としています。法律により、採決に加われない議員については、除と表現しています。

## 平成29年 第463回 臨時会 議決結果

件 名	議 決 結 果
米陸軍トリイ通信施設内における夜間のサイレン音に対する抗議決議	可 決
米陸軍トリイ通信施設内における夜間のサイレン音に対する意見書	可 決

## 平成29年 第464回 臨時会 議決結果

件 名	議 決 結 果
平成29年度読谷村一般会計補正予算（第4号）	可 決
読谷村特別職の職員の給与等並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可 決
物品供給（地域活動支援バス購入）契約について	可 決
平成29年度村道村民センター線整備工事請負契約について	可 決
平成29年度（仮称）読谷村パークゴルフ場整備工事請負契約について	可 決
平成29年度沖縄県町村土地開発公社事業計画及び予算の報告について	報 告

## 平成29年 第465回 定例会 議決結果

件 名	議 決 結 果
平成28年度読谷村一般会計歳入歳出決算認定について	認 定
平成28年度読谷診療所特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
平成28年度読谷村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
平成28年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
平成28年度読谷村下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
平成28年度読谷村水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決及び認定
平成29年度読谷村一般会計補正予算（第5号）	可 決
平成29年度読谷診療所特別会計補正予算（第2号）	可 決
平成29年度読谷村国民健康保険特別会計補正予算（2号）	可 決
平成29年度読谷村下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可 決
読谷村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可 決
読谷村税条例の一部を改正する条例	可 決
字の区域の変更について	可 決
読谷村農業委員会委員の選任(知花勝也氏) について	同 意
読谷村農業委員会委員の選任(仲宗根悦子氏) について	同 意
読谷村農業委員会委員の選任(池原公平氏) について	同 意



平成29年 第465回 定例会 議決結果

件 名	議 決 結 果
読谷村農業委員会委員の選任(屋宜清氏) について	同 意
読谷村農業委員会委員の選任(新垣昇氏) について	同 意
読谷村農業委員会委員の選任(山内昌茂氏) について	同 意
読谷村農業委員会委員の選任(比嘉健二氏) について	同 意
読谷村農業委員会委員の選任(知花竜氏) について	同 意
読谷村農業委員会委員の選任(上地和豊氏) について	同 意
読谷村農業委員会委員の選任(比嘉幸男氏) について	同 意
固定資産評価審査委員の選任 (比嘉進氏)	同 意
読谷村選挙管理員・同補充員の選挙について	決 定
平成28年度読谷村教育委員会事務点検・評価の報告	報 告
平成28年度沖縄県町村土地開発公社事業及び決算の報告について	報 告
平成28年度読谷村健全化判断比率の報告について	報 告
平成28年度読谷村下水道事業特別会計資金不足比率の報告について	報 告
平成28年度読谷村水道事業会計資金不足比率についての報告	報 告
ソフトボール専用球場設置に対する要請書	一 部 採 択
ソフトボール専用球場の建設要請書	一 部 採 択
ソフトボール専用球場設置に対する要請書	一 部 採 択
コミュニティーバス(鳳バス) の嘉手納高校への路線新設について(要請)	採 択
村民に不安を与えるMV-22オスプレイの墜落事故に対する抗議決議	可 決
村民に不安を与えるMV-22オスプレイの墜落事故に対する意見書	可 決
チビチリガマ損壊事件に対する特別決議	可 決
北朝鮮による日本人拉致問題の早急な解決を求める意見書	可 決
閉会中の継続調査申出について <ul style="list-style-type: none"> <li>・文教厚生常任委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>①放課後の子どもたちの過ごし方の実態調査</li> </ul> </li> <li>・建設経済常任委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>①読谷村残波岬いこいの広場の指定管理と運営状況の調査</li> <li>②読谷村の元気やさい振興事業とパイプハウスの状況調査</li> </ul> </li> <li>読谷村補助飛行場第2工区事業の現場調査</li> </ul>	決 定

# 第10回 村民との意見交換会及び議会報告会をおこないました

読谷村議会では、村民に開かれた議会の実現を目的とした「第10回村民との意見交換会及び議会報告会」をおこないました。

これは、村民に身近な議会の実現、村民参加の拡大などを主旨とする「読谷村議会基本条例」に則り開催しています。今回は、趣を少し変更し、例年、村内の団地と自治会で行っていた会を、より専門的な意見を拝聴したく、村内で活躍されている8の団体と行い、専門的かつ貴重な意見交換会をおこなう事が出来ました。

月日	A 班	B 班	C 班	D 班
10月23日	食生活改善推進協議会		障がい児者を守る父母の会 中部地区和牛改良組合	スポーツ推進委員協議会
10月24日		沖縄花卉園芸農業 太陽の花		
10月25日	母子保健推進委員			
10月30日		商工会青年部		
10月31日				読谷村子ども育成連絡協議会

## A班 読谷村食生活改善推進協議会との意見交換から

- ・ 食改善推進協議会の活動が周知されていないのが悩みであり、会員が減少している
- ・ 地産地消を推奨するうえで野菜作りをしたい。リフレッシュ農園を利用できないか
- ・ 多くの皆様に、料理教室に参加して出来た料理を試食して頂きたい
- ・ 18番市などの施設の運営状況はどうなっているか

### 読谷村母子保健推進委員

- ・ 母子保健推進委員の知名度が低く訪問の際に快く迎えてもらえない
- ・ 未受診者を訪問するが、仕事で会えないケースが多い
- ・ 受診場所が毎年変わるのので、保健センター等の建設を求む
- ・ 自主活動のための予算化をして欲しい

## B班

沖縄県花卉園芸農業協同組合 太陽の花読谷支部



商工会青年部のみなさんと



スポーツ振興委員協議会との意見交換

- ・ 農地の遊休地の有効利用を図るため、農地の流動化を図っていただきたい
- ・ 作業時に出る廃プラ等の処理に困っている行政の支援が必要

読谷村商工会青年部

- ・ 旧読谷中学校跡地の利用状況は
- ・ 旧読谷飛行場返還跡地の払い下げを早めに行い有効活用を出来ないか
- ・ スポーツキャンプ誘致を積極的に行って行くために、新しいスポーツ施設建設予定は
- ・ 外国人観光客へのサービスの一環として両替所を設置しては

C班 読谷村障がい児（者）を守る父母の会

- ・ 村職員試験に知的障害を持つ子も受験できないか
- ・ 移動支援の拡充を求める
- ・ 会の事務所移転が迫っており早急な対策が必要である

中部和牛改良普及組合

- ・ 一括交付金を活用して実施している優良母牛導入事業を平成30年以降も継続して欲しい
- ・ 牛糞等を集積する堆肥センターの整備ができないか
- ・ 牧草地の確保ができないか
- ・ 畜舎への上下水道の接続をしてほしい

D班 読谷村スポーツ振興委員協議会

- ・ 全国大会および表彰の旅費や研修費を自腹参加している現状である
- ・ 各イベントに参加する子どもたちが少なくなっている、多くの皆さんに参加して欲しい
- ・ 土日開催が多く新たに委員になってくれる後継者がいない

読谷村子ども会育成連絡会

- ・ 各支部の役員のなり手が無く、役員の引継ぎが出来ない支部もある
- ・ 県外への派遣費が各支部で違いがあり、小さい支部では対応出来ない状況にある
- ・ その他多くの意見を頂きました。



闊達な意見交換ができました



障がい児（者）を守る父母の会のみなさんと

# 熱演!! 喜名「忠臣・護佐丸」

## 3月には国立劇場へ

喜名の誇る伝統芸能 組踊「忠臣・護佐丸」が10月8日、内外から多くの観客を集め上演された。実に110年余にわたり伝統的に受け継がれ演じられてきたことになる。

近年は4年に一度上演され、地謡着付け、演技の指導、チンク隊、裏方等100名を越す人達が関わる大イベントである。変わりゆく地域において、その高いモチベーションの一端を、喜名伝統芸能保存会の波平等志会長はこう話す。「今回の成功は青年会、婦人会はじめ各種団体がしつかり機能したから。もちろん役者のがんばりが一番だが後方支援がなければできない。衣装の管理や舞台化粧なども大変な作業だ。また25

年前に当時地謡をしていた、故照屋貞正さんが、それまで口頭でのみ伝承されていた節まわしなどを工四(譜面)に表し台本に仕上げたことも安定継承に大きな意義があった。」劇中、「ソンバレ節、瀧落とし」の2曲を同時に演奏する場面もあり、地謡にも高い演奏技術が求められる。

来年3月3日には、沖縄伝統芸能のメッカとも言うべき国立劇場おきなわでの初となる公演が決まっている。護佐丸上演実行委員長でもある、松田安雄自治会長は、こう抱負を述べた。「この演技をもって国立劇場でも大きな成果をあげ、はげみにしてほしい。バスを連ねた観劇ツアーを仕立てようと計画している。」と意気込んでいる。

国立劇場おきなわでの公演に関しては、喜名自治会事務所 ☎098-958-2236まで。



上演直前の道ジュネー



第17回喜名区伝統芸能組踊「忠臣護佐丸・長者の大主」上演 平成29年年10月8日(2017)



松田安雄  
自治会長



喜名伝統芸能保存会  
波平等志会長



地謡の面々

りっかりっか読谷村議会

9月定例会での傍聴者は、延べ28名でした。

平成29年12月定例議会は12月12日(火)から21日(木)まで開会予定。

◎議会の日程についてホームページでお知らせしております◎

読谷村公式ホームページアドレス  
http://www.yomitan.jp

〈お問い合わせ〉  
議会事務局 TEL 098-982-9225